

# 金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/02/07号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



## 【ゴールドマーケットの現状】

### 長期金利1.9%越えにもゴールド1800ドル維持

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



ゴールドは不利な環境の中、前々週の急落からの戻りの動きでした。FOMC後の70ドルもの急落は途中からは売りが売りを呼んだ展開で、弱いロングが損切り売りへと走ったことから、70ドルもの大きな下げになってしまったと思います。しかしそこからの売り手はおらず、つまり売りたい向きは急落場面で売り尽くし、先週はじわじわとバーゲンハンティングの買いが入り上昇する一週間でした。そして先週もサプライズがありました。まず水曜日に発表された民間のADP雇用統計。NFP（非農業部門雇用者数）の市場予想20万人増に対して30.1万人減という50万人もの大きなずれでしたが、その割にはマーケットの反応は小さく、ドルが下落、金利も下落しましたが、大きな動きではありませんでした。前月比で減少となるのは2020年12月以来ということで、オミクロン株の影響がやはり相当大きいと言えるでしょう。しかしそれ以上のサプライズが金曜日の米政府の雇用統計でした。NFPの市場予想は15万人増ということでしたが、ADPがマイナスであったこともあり、ネガティブサプライズがある程度予想されました。実際この市場予想はいろいろなエコノミストの意見の総計ですが、今月の予想は25万人増から40万人減まで大きくばらつきがあったようです。まさにオミクロン株の影響が読みづらい結果だと言えるでしょう。そして結果的にはなんと46.7万人増というADPとは全く逆の数字が出ました。それにより長期金利は1.92%と2019年年末以来のレベルまで上昇、ゴールドは1814ドルまで上昇していたのが、1792ドルまで急落。しかしここから1807ドルまで戻して一週間が終わりました。1800ドル割れにはそこを待っている執拗な買いがあるようです。この長期金利で1800ドルを保つというのは相当ゴールドが堅調なイメージです。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

## 【マーケット・トピック】

### ゴールド・マーケットー先物市場の仕組み

先物取引はOTCがトレーダー間の相対取引であるのに対して、取引所で定型化された将来の決められた期日での決済をする取引です。たとえばCMEの一部であり、世界最大のゴールドの先物取引所である「Comex (Commodity Exchange)」のゴールドを例として先物取引とは、どういうものか説明しましょう。

#### 「Comex Gold Futures」

- 1 contract = 100toz のドル建て1オンス当たりの価格である。(建値はLoco London goldと同じ)
- 未来の決まった期日決済(たとえば2021年12月(Dec) contractは12月29日が決済日)条件の価格。(Spotは二営業日後決済の価格)
- 先物取引の最大の特徴は、商品価格のおよそ10分の1以下の証拠金(margin money)を収めることで取引ができるということ。つまり少ない資金で大きな取引ができることになり「梃子の原理(leverage)」を活用することで、資金を効率よく運用することができる。もちろんその反面ではハイリスクハイリターン取引となる。
- 先物取引のポジションは決済日が来る前に基本的には反対売買で差金決済される。しかし、実際にゴールドを受け渡しを行うことも可能。その場合買い手は総商品代を取引所に払う。
- 取引所取引の利点は、OTCでは取引相手に対する与信が発生するのに対して、取引所取引では、売買の相手はクリアリングハウス(清算機構)であり、ひとつひとつの取引相手に対する与信は発生せず、クリアリングハウスという財務基盤のしっかりした巨大組織になるので与信リスクはほとんど発生しない。
- 多くの市場インタレストが同じ取引所に集中するため、流動性があり競争的そしてフェアな価格で取引することができる。
- 現在では、Comexのゴールドがほぼ24時間取引されており、事実上世界のゴールドの価格の源泉となっている。すべてのゴールド価格はこの価格から計算されていると言っていいでしょう。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項(ディスクレマー)をお読み下さい。

## 【ディスクレマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 [info@jbma.net](mailto:info@jbma.net)

### 池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は  
ツイッターで

